変額保険グローバルミックス

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2017年度 (2017年4月~2018年3月) 特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。 さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。 今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本		運用方針	利 用 す る 投 資 信	
配分	几 平	1 - 111777	投資信託名	委託会社
		日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替へッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉	
株式			アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
林氏	50%		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・ マネージャーズ株式会社
			アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
債券	50%	行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)	

- ※ 特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。
- ※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。
 - ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
 - ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
 - ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
 - ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

特別勘定の現況 (2017年4月~2018年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。 情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2017年4月~2018年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は上昇しました。年度末の東証株価指数(TOPIX)は前年度末比+13.47%の1,716.30ポイント(前年度末1,512.60ポイント)となりました。年度の前半は、一時1,500ポイントを下回った後、シリアや北朝鮮の地政学リスクへの懸念後退や、欧米株式市場が上昇したことなどを背景に上昇しました。年度の後半は、安定した国内の政権運営や米国の税制改革法案に対する期待感などを要因に上昇し、1月には一時1,900ポイントを上回りました。その後、米金利の上昇などを背景とした米国株式市場の下落や、円高米ドル安などを要因に日本株式市場は下落基調で推移しましたが、年度を通じては上昇となりました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末のNYダウ工業株30種は前年度末比+16.65%の24,103.11ドル(前年度末20,663.22ドル)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスクへの懸念後退、堅調な経済指標などを背景に上昇しました。年度の後半は、税制改革法案に対する期待感などを要因に上昇基調で推移し、1月下旬には26,616.71ドルを付けました。その後、米金利の上昇が嫌気されたことや、米国の対中貿易制裁に伴う米中貿易戦争への警戒感などから下落基調となりましたが、年度を通じては上昇となりました。欧州株式市場は市場によってまちまちの展開となりました。市場別の年間の騰落率は、独DAX指数-1.76%、英FTSE100指数-3.64%、仏CAC40指数+0.87%となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が低下(価格は上昇)し、年度末には0.045%(前年度末0.065%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスクへの懸念後退などを受けて0.105%まで金利は上昇(価格は下落)しました。その後、株安、米金利の上昇に連れて、金利は上昇しました。年度の後半は、10年国債の需給の引き締まりが意識されたことなどから金利は低下しましたが、その後、欧米債券の金利上昇や、12月初めの入札が不調となったことなどを背景に、金利は上昇しました。2月に日銀の国債買い入れオペレーションにおいて国債の買い入れ額が増額されたことなどを受けると、金利は低下基調で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には2.739%(前年度末2.387%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見通しなどを要因に採み合いで推移しました。年度の後半は、レンジ圏で推移した後、12月下旬に米国の税制改革法案が成立したことなどを受けて金利は上昇しました。平成30年に入った後も中国当局者らが米国債の購入を減額ないし停止すると勧告したと報じられたことや米経済の堅調さなどを背景に金利はし停止すると勧告したと報じられたことや米経済の堅調さなどを背景に金利は2.954%まで上昇しましたが、年度末にかけては、米中貿易戦争への懸念などを背景に金利は低下(価格は上昇)しました。年度を通じては金利は上昇しました。年度市場に、FRB(米連邦準備制度理事金)による、FF(フェデラル・ファンド)金和の誘急などを背景に、FRB(米連邦準備制度理事金)による、FF(フェデラル・ファンド)金和の誘急などを背景に会市場は、独10年国債の金利が上昇し、年度末には0.497%(前年度末0.328%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見通しなどを要因に採み合いで推移しました。年度の後半には、米金利の上昇や、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和縮小に対する前向きな姿勢などを受けて金利は上昇傾向で推移し、0.8%超となる場面もありました。年度末にかけては2月に発表された独景況感指数やユーロ圏消費者物価指数速報値の軟調な結果や、ECB関係者が景気や物価に対して賃重な見解を示したことなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。年度を通じては金利は上昇しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円高米ドル安となり、年度末には106.24円(前年度末112.19円)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見通しなどを要因に採み合いで推移しました。年度の後半は、米国の税制改革法案への期待感などから円安米ドル高傾向で推移しましたが、1月に日銀が国債買い入れオペレーションを減額したことなどを受けて円高米ドル安基調に転じ、3月下旬には104.93円を付けました。ユーロ/円相場は、円安ユーロ高となり、年度末には130.52円(前年度末119.79円)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクへの懸念後退などの影響で、円安ユーロ高で推移しました。年度の後半は、ECBの金融緩和の縮小に対する前向きな姿勢などを要因に世界的に株安となったことなどを背景に、リスク回避のため安全資産とされる円が買われ、円高ユーロ安基調で推移しました。年度を通じては円安ユーロ高となりました。

日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



※インデックスの名称が「シティ世界国債インデックス」から「FTSE世界国債インデックス」へ変更されました。

外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

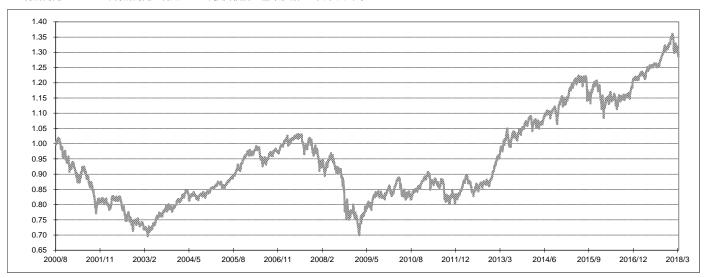
特別勘定の現況 (2017年4月~2018年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2018年3月末日現在]

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2018年3月末	2017年12月末	2017年9月末	2017年6月末	2017年3月末	
INDEX	1.302	1.327	1.281	1.251	1.227	
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率(%)	△ 1.52	△ 1.89	1.62	6.05	9.44	30.16

- ※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	2,210,662	4.6
その他有価証券	45,340,930	95.4
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	4,542,360	9.6
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)	6,758,223	14.2
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	7,496,509	15.8
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	4,193,247	8.8
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	22,350,590	47.0
合計	47,551,593	100.0

- ※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	_
有価証券売却益	470,425
有価証券評価益	2,395,893
有価証券償還益	_
為替差益	_
その他収益	_
有価証券売却損	
有価証券評価損	8,302
有価証券償還損	_
為替差損	_
その他費用及び損失	_
収支差計	2,858,015

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。欧州株式を除く、全ての資産がプラスに寄与しました。 資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%程度、欧米株式25%程度の資産配分といたしました。) 今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

特別勘定の現況 (2017年4月~2018年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は 一切責任を負いません

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

[2018年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

★型イルフォント マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を 行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割 安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※ 当投資信託は、主として アクサローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当場資信託の職務家

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来		
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	政定不		
投資信託	▲2.18%	▲ 4.58%	3.61%	16.52%	17.75%	58.58%		
BM	▲2.94%	▲5.57%	2.48%	13.47%	11.22%	15.76%		
差	0.76%	0.99%	1.13%	3.05%	6.53%	42.82%		

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として 計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※「BM」とは、ベンチマークを指します。 ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)*1です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

〇 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド			
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.12%			
2	KDDI	情報·通信業	1.77%			
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.71%			
4	キヤノン	電気機器	1.61%			
5	オリックス	その他金融業	1.44%			
6	三菱電機	電気機器	1.40%			
7	アステラス製薬	医薬品	1.38%			
8	イオン	小売業	1.30%			
9	コーセー	化学	1.19%			
10	日本電信電話	情報·通信業	1.12%			
	合計					
	組入銘柄数					

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)

[2018年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 〈適格機関投資家私募〉

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割 安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※ 当投資信託は、主として アクサローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の職落率

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	政定不
投資信託	▲2.42%	▲5.26%	3.97%	16.93%	22.63%	91.44%
BM	▲2.94%	▲5.57%	2.48%	13.47%	11.22%	33.12%
差	0.52%	0.31%	1.49%	3.46%	11.41%	58.32%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として 計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※「BM」とは、ベンチマークを指します。 ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)*1です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

\sim							
	銘柄	業種	マザーファンド				
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.35%				
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.67%				
3	本田技研工業	輸送用機器	2.49%				
4	KDDI	情報·通信業	2.16%				
5	キヤノン	電気機器	1.93%				
6	東海旅客鉄道	陸運業	1.90%				
7	アステラス製薬	医薬品	1.84%				
8	日立製作所	電気機器	1.79%				
9	武田薬品工業	医薬品	1.74%				
10	三菱電機	電気機器	1.72%				
	合計						
	組入銘柄数						
	NV 1 = 45 = 1 1/1 1 1 1 1 1 1 1 1						

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~6ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

カスタマーサービスセンター お問合せ先:

Tel 0120-568-093

特別勘定の現況 (2017年4月~2018年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、
- 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は ー 一切責任<u>を負い</u>ません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

[2018年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募) アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社 【委託会社】

【運用方針】

ファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式 を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産について は、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として アクサローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の職落率

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来		
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	放足木		
投資信託	▲3.87%	▲ 1.93%	5.01%	11.12%	24.14%	139.36%		
BM	▲3.98%	▲2.26%	4.17%	9.57%	21.81%	85.48%		
差	0.12%	0.32%	0.84%	1.55%	2.33%	53.88%		

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として 計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数^{*2} (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

〇 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	3.40%
2	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	2.86%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.65%
4	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.53%
5	JPMORGAN CHASE & CO.	アメリカ	銀行	2.36%
6	FACEBOOK INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.77%
7	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.59%
8	INTEL CORP	アメリカ	半導体·半導体製造装置	1.53%
9	MERCK & CO.INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.39%
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC.	アメリカ	各種金融	1.29%
	21.36%			
	222銘柄			

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉

[2018年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社 【委託会社】

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する 株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に はなくがあいます。ロット・四が動物がである。 評価されていると判断される「割安株」(パリュー株)を選別してポートフォリオを構築すること で、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。 外貨建資産につい ては、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として アクサローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託				▲0.20%	1.38%	46.46%
BM	▲2.81%	▲5.01%	▲3.37%	▲0.54%	▲0.95%	7.34%
差	▲0.68%	0.09%	▲0.86%	0.34%	2.34%	39.12%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として 計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数^{*3} (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

〇 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド				
1	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.74%				
2	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	2.11%				
3	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	2.04%				
4	ALLIANZ SE	ドイツ	保険	2.01%				
5	DIAGEO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.91%				
6	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	1.78%				
7	BASF SE	ドイツ	素材	1.76%				
8	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	イギリス	エネルギー	1.60%				
9	NOVO NORDISK A/S	デンマーク	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.56%				
10	ZURICH INSURANCE GROUP AG	スイス	保険	1.48%				
	合計							
	組入銘柄数							
×	※ ト記象挿げ 推将すたけ取得の中以よの新課を行うたのでけなりません。							

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。
- ・4ページ~6ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

カスタマーサービスセンター お問合せ先:

Tel 0120-568-093

特別勘定の現況 (2017年4月~2018年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は - 切責任を負いません

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)

[2018年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

アクサ ローゼンバーグ・日本信券ファンド(B) (適格機関投資家私募) 【投資信託名】

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を 行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場 合は、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として アクサローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の職落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲0.02%	0.05%	0.11%	0.10%	0.74%	18.00%
BM	▲0.03%	0.02%	0.12%	▲0.06%	0.99%	23.23%
差	0.01%	0.03%	▲0.01%	0.17%	▲0.25%	▲5.23%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として 計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、 ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックス*4です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報 ○ 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

	銘柄		国名	クーポン	償還日	格付		・マサーファンド	
		⊭ ⊔1F3	12.0	7 /1.2	反还口	ムーディーズ	S&P	()))]	
	1	第324回利付国債(10年)	日本	0.800%	2022年6月20日	A1	A+	11.40%	
	2	第312回利付国債(10年)	日本	1.200%	2020年12月20日	A1	A+	8.84%	
	3	第311回利付国債(10年)	日本	0.800%	2020年9月20日	A1	A+	5.32%	
	4	第313回利付国債(10年)	日本	1.300%	2021年3月20日	A1	A+	5.08%	
	5	第127回利付国債(5年)	日本	0.100%	2021年3月20日	A1	A+	4.91%	
	6	第52回地方公共団体金融機構債券	日本	0.831%	2023年9月28日	A1	A+	4.23%	
	7	第322回利付国債(10年)	日本	0.900%	2022年3月20日	A1	A+	4.23%	
	8	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	0.145%	2027年3月15日	A1	Α	4.08%	
	9	第3回BPCE債	フランス	0.385%	2023年1月25日	-	BBB+	4.07%	
	10	第341回利付国債(10年)	日本	0.300%	2025年12月20日	A1	A+	3.96%	
	合計								
組入銘柄数									

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

用語説明

- *1「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下㈱東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。 ㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&ブアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利は スタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した 上で円ベースに評価したものです。
- *3「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。 また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(現地通貨ベース)に対し、 委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *4 ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標および サービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合(3-7年)インデックスに対する 一切の独占的権利を有しています。

注意事項

〇変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、 独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて

. 特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。<u>場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払</u> いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約 者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~6ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093